

## 原子力発電はやっぱり核武装のためだった！

森本防衛大臣が就任前「日本が原子力について高い能力を持っていることが周りの国からみて非常に大事な抑止機能を果たしている」などと発言していたことが明らかになりました。

原子力の能力と言えば原発技術のことであり、原子力による抑止といえば核武装して周辺国を威嚇するという事です。このような森本大臣の思想は、原発比率を含めたエネルギー・環境戦略にも影響することになります。そして何よりも「非核三原則」を破棄し、日本の核武装に道を開くものです。あわせて、今年6月に原子力開発の基本原則を定めた原子力基本法が、まったく国民的議論を経ずに「わが国の安全保障に資する」と改正・追記されたこともみておかなければなりません。

自然と人間を傷つける原発はいらない！この声をさらに大きくしていきましょう。

### 防衛相「原発は抑止力」

#### 就任前 国防上の利点強調



森本防衛相

森本敏防衛相が就任前の今年一月、電力関係の講演会で日本の原

係の講演会で日本の原... 見については「でぎれば現実の政策の中に生かすのが職責だとも強調した。

原子力開発を平和利... 用に限定する原子力基本法には六月「わが国の安全保障に資する」

2012年9月6日 東京新聞

森本氏は共同通信の取材に対し「政府の一員となった現在は(非核三原則を堅持する)政権の方針に従う」とする一方、就任前から外交・安全保障の知

## すべての戦争政策に反対！